

町立弟子屈小学校 温泉熱利用暖房設備設置工事

○応募事業：温泉熱等利活用【計画策定】

○事業実施地：北海道川上郡弟子屈町

○代表事業者：弟子屈町

○共同実施者：

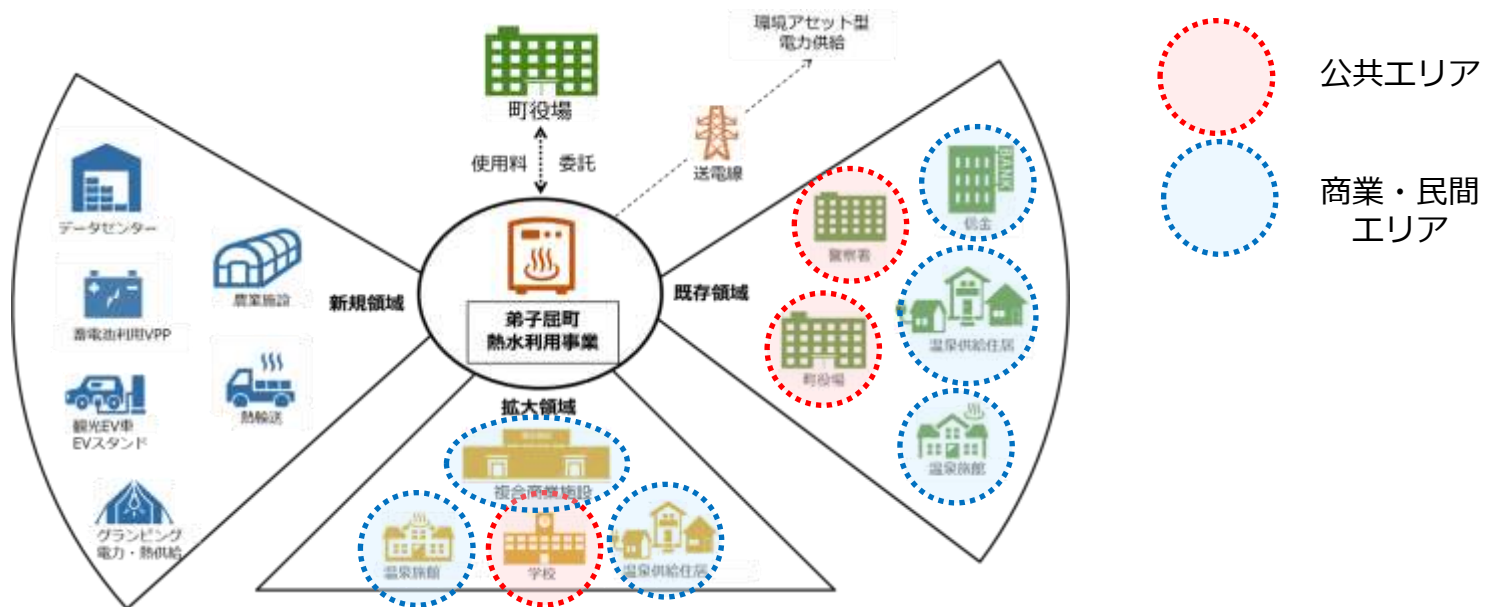
○地域課題

高齢化と急激な少子化による地域力低下、地域経済の縮小、厳しい住環境。

○本事業を活用した地域課題の解決方策

町内に豊富に賦存する再生可能エネルギーである地熱・温泉資源を有効に活用し、住みやすい生活環境の拡充、更には新たな産業による循環型経済の構築と雇用の場の創出を推進することにより、「てしかがゼロカーボンシティ」の実現し、多くの人材が集まる環境整備と地域活性化につなげていく。

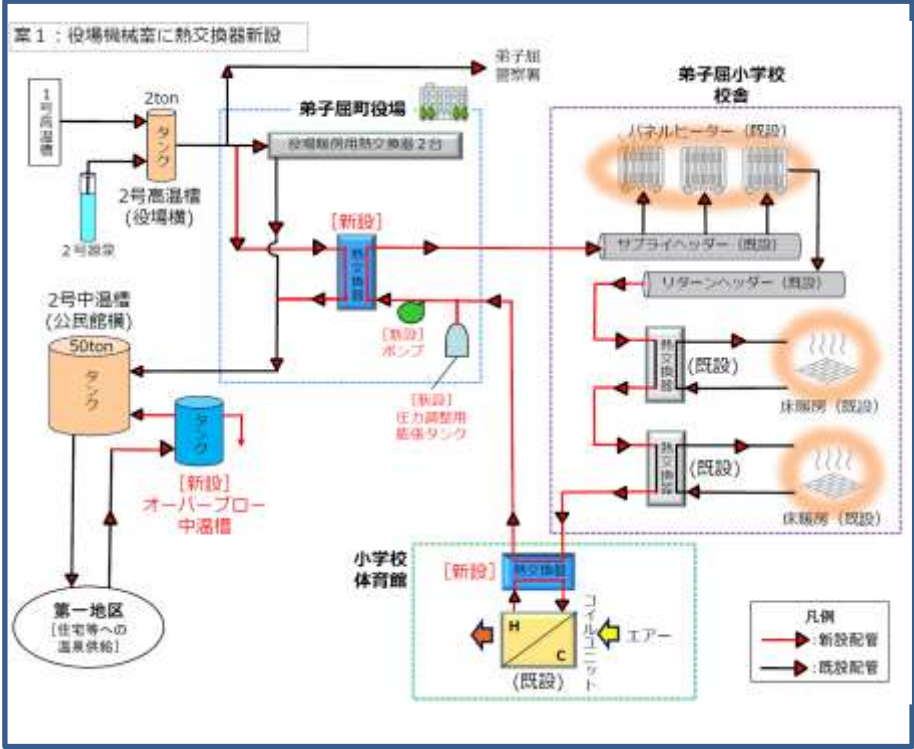
○目指す地域循環共生圏のイメージ



○事業概要

本補助事業では、本町が持っている温泉水給湯網から新たな配湯を弟子屈小学校（校舎および体育館）まで延ばし、現状の重油による暖房を温泉熱利用に切り替える。
 弟子屈町では北海道のモデル化事業を用い、2017年度より町中でのバイナリー発電と温泉給湯事業拡充のための事業を行ってきた。これにより、新規坑井（TS井）掘削と動力揚湯量の確定、バイナリー発電機の最適機種を選定、TS井を中心とした新たな給湯網についての検討を行った。
 最適バイナリー発電機を選定はできたものの、経済性が悪いためその導入には至っていないが、今後どのような条件下であれば経済性が成り立つか検討を続けている。
 今般の事業は、発電機選定後に実施予定である新規配湯網の整備を一部前倒しで行うものである。バイナリー発電機設置に決着が付けば、その他の給湯網の拡充を行い、本事業の弟子屈小学校の給湯ラインも新しい給湯網のもとで運用する。

○導入予定の設備等のイメージ



○事業の実施体制

